



放射線ファーマシストは、  
どんなことができるの？

放射線ファーマシストの主な活動は、

- ・薬局等における放射線に関する相談応需
- ・放射線に関する教育・啓発
- ・学校薬剤師<sup>※</sup>との連携(学校での放射線教育、校舎・校庭の放射線測定等)

等です。



<sup>※</sup>学校薬剤師とは  
学校保健安全法で設置が義務付けられており、学校薬事衛生  
(薬品類の使用・保管等) 学校環境衛生(換気、採光、照明  
など)の維持管理に関する指導・助言者



放射線ファーマシストに  
相談したい時は、どこに  
行けばいいの？

福島県薬剤師会ホームページの薬局  
検索から放射線ファーマシストが在  
籍している薬局が検索できます。



## これまでの主な活動

2013年 放射線ファーマシスト委員会設立

2014年 養成事業スタート

2015年 相談受付事業スタート



2017年～ 福島県原子力防災訓練へ参画

2017年～ 東京電力福島第一原子力発電所の視察



### 【講演等の活動実績】

- フランス使節団視察の受け入れ  
岩手県薬剤師会
- 日本薬剤師会試験検査センター技術研修会
- 日本薬剤師会学術大会(口頭発表)
- 北海道・東北六県薬事情報センター連絡協議会
- 日本女性薬剤師会移動セミナー
- 東北学校薬剤師連合会連絡協議会
- 東北薬剤師連合大会
- 鹿児島県薬剤師会

### ●お問合せ先

一般社団法人福島県薬剤師会

☎960-8157

福島市蓬莱町二丁目2号2番

TEL.024-549-2198

FAX.024-549-2209

URL <http://www.fukuyaku.org>



「放射線ファーマシスト」は一般社団法人福島県薬剤師会の登録商標です

## 一般社団法人福島県薬剤師会 放射線ファーマシスト<sup>®</sup>ガイド

放射線は怖いのか？  
福島県産の食べ物は安全？  
甲状腺がんになるのか？



2011年3月の東京電力福島第一原子力発電所の事故以来、見えない放射線の影響や風評被害に悩み苦しむ県民に対して、薬剤師としての学術的特性と資質を生かし、**放射線に関する正しい知識・情報を伝えていく**ために、放射線の知識を有する薬剤師＝“**放射線ファーマシスト**”を養成する事業を2013年にスタートさせました。

県民からの相談に応えるため、福島県在住の薬剤師が、初級・中級・上級とステップアップしながら、放射線に関する知識を習得し、“放射線ファーマシスト”としての研鑽を重ねています。

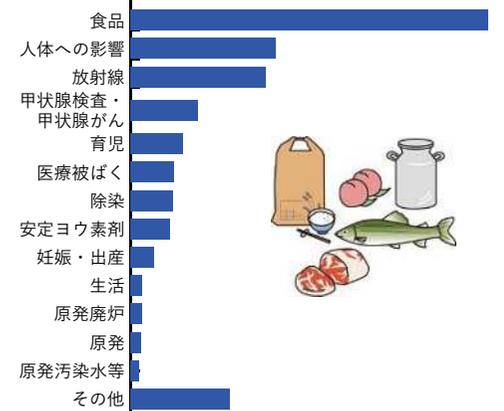
薬局や学校等において、『放射線の正しい知識』の啓発や**相談受付活動**を行っています。

◆認定者数



**放射線に関する相談受付事業**

薬局等の窓口で、県民の皆さんが不安や疑問に思っている放射線に関する相談に、お応えしています。



**放射線ファーマシスト養成事業**

福島県薬剤師会で作成したテキスト(初級・中級・上級・資料編、Q&A)を用いて、放射線ファーマシストの養成講習を2014年から行っています。



**Step2 中級**

- 放射線の基礎知識
- 被ばく線量の評価
- 放射線の人体に与える影響
- 放射線防護と除染
- 放射線に関する薬剤

**Step1 初級**

- 放射線を知ろう！
- 身の回りの放射線
- 放射線を受けるとどうなるの？
- 放射線はどうやって測るの？
- 放射線を防護する方法は？
- 放射性物質がなくなるまでの期間はどのくらい？



**Step3 上級**

- 確率的影響と確定的影響
- がん発生メカニズム
- 免疫メカニズム
- 放射性ヨウ素と甲状腺
- 放射性セシウムについて

**フォローアップ**

- 資料編・福島の実況
- 外部講師の講演

**”正しい知識”を伝えるための啓発リーフレット配布**

